

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 8月29日更新

事務事業名		都市公園施設修繕事業						☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり						所属部	事業部	課長名	辻 賢一郎
	施策	9	住環境の充実						所属課	都市計画課	担当者名	橋本 達郎
	基本事業	26	公園など身近な住環境の整備						所属班	都市計画班	(内線)	2235
予算科目		会計一般	款8	項4	目2	事業連番10137	法令根拠	都市計画法・都市公園法・都市公園条例・施行規則		成果優先度評価結果	⑤	
										コスト削減優先度評価結果	⑨	
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始						事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	都市公園に設置する遊具、外灯、施設等の改修・修繕を主に行う事業である。公園に設置された施設については、年数の経過と共に老朽化や故障が発生してくるため、随時修繕をすることで適正な維持に努めている。また、年1回業者委託により全公園遊具等の定期点検を実施し、遊具の状態把握も併せて行なっている。設置から年数も経過し、施設の老朽化も進んできているため修繕対象は増加傾向にある。また、いたずらによる破損等も多い。
【業務の流れ】	現地確認・積算・業者選定・決定・契約・打合せ・検査・支払い
【主な予算費目】	職員手当、旅費、需用費、委託料、工事請負費、原材料費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	公園数も多く修繕対応が必要な施設も増加傾向である。予算の都合もありすぐに対応できない場合は使用禁止措置等が長引き市民に迷惑をかけることがあり、早期の修繕が望まれている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
各公園の遊具修繕、施設(水道・トイレ・照明灯等)修繕		各公園の遊具修繕、施設(水道・トイレ・照明灯・外柵等)修繕	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア: 修繕公園数	箇所	飯高山公園・弁天山の樹木伐採に要する委託料の減と公園施設工事請負費の減	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等利用者	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
	箇所	→ア: 全公園数	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
適正に管理できる安全快適に利用できる	件	→ア: 苦情・要望数	
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠 苦情要望の件数は管理状況を示すバロメータとしても有意義であると考えたため			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移											
		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込	
① 活動指標		箇所 アイ	45	34	40	47	40	40	40	40	
② 対象指標		箇所 アイ	158	163	166	165	170	174	178	182	
③ 成果指標		件 アイ	21	50	40	47	40	40	40	40	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	2,075							
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	25,977	8,023	10,960	9,946	9,300	11,000	11,000	11,000
	(A) 事業費計	千円	28,052	8,023	10,960	9,946	9,300	11,000	11,000	11,000	
		(A)のうち指定経費	千円	28	71	99	7	87	12	87	87
		(A)のうち時間外、特勤	千円	28	64	87	0	75	75	75	75
	人件費	正規職員従事人数	人	3	4	3	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	620	773	600	780	750	750	750	750
		(B)人件費計	千円	2,554	3,121	2,422	3,175	3,028	3,028	3,028	3,028
トータルコスト(A)+(B)		千円	30,606	11,144	13,382	13,121	12,328	14,028	14,028	14,028	

事務事業名	都市公園施設修繕事業	所属部	事業部	所属課	都市計画課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 適正に管理されているため ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 限られた予算・人員でおこなっており、向上余地はない
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 公園数は増加しており、施設の老朽化も顕著であるため、事業費は増加傾向にある
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の人件費である
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 公園は誰でも利用が可能である
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市が管理する施設であり日常的な点検は地域住民で行うなどの分担を行っているが修理については専門的な分野でもあり費用負担の面からも適正である

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成21年度に経済対策事業と本事業により遊具の点検修繕をかなり行うことができ施設改善が進んだ。この後も継続して行っていくことが必要となる。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							